

## 学びについて思うこと

英語について2回お話をしましたが、もう一つお話をします。

現役在職中、国際交流センター長として外国の大学を訪問する機会を得ました。そのなかで、中国の鄭州大学へいった時の話です。

旅行中は、少し早起きをして、宿舎の周りを歩いたりします。通勤の自転車の洪水などを見ることができます。

鄭州大学のそばに行ってみると、小さな流れがあり、それに沿って学生さんが立っています。何をしているのかなと、何気なくその横を歩いて通り過ぎてみると、皆英語の暗誦をしていました。朝から少なからぬ人が、暗誦の英語の勉強をしているのに、驚かされました。

英語の先生にこのことを話したら、暗誦は英語のとてもよい勉強法だとコメントしてくれました。

英語の勉強とは離れますが、文科省の派遣した視察団の大学教員のメンバーの一人として、中国に行ったときの話しです。十数年位前の話です。

中国の大学を見て、大学教員のメンバーと話したことの一つに「中国の学生さんの学ぶ姿がとても目についた」ということです。校庭で、自習室で、図書館でとても目につきました。

最近弘前大学の図書館に行くと、施設が整備されたこともあると思いますが、利用者の数が多くなったように思えます。中国の学生さんと同じような傾向が出てきたかなと思い、そのことを、私よりもシニアな図書館をととてもよく利用されている名誉教授の方と話したら、確かに利用者は増えているが、本をよく読むようになったというわけではないのではないか、というご意見でした。

それでも、生協の食堂など、勉強している学生を多く見かけますが、ただ人のレポートを写しているのか中身はわかりませんが、友達と議論したり、並んで机に向かっているのを見るのはいいものです。

2016/10/15 倉又秀一